



十和田市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界的に深刻な異常気象が多発し、国内においても記録的な豪雨、猛暑や台風などこれまでに経験したことがない規模の自然災害が頻発しており、地球環境は深刻な状況です。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの世界の平均気温上昇の幅を2度未満とする」という目標が国際的に共有され、2018年にはIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書において、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素等の実質排出量をゼロにすることが必要」とされました。

我が国においても2020年10月に、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を2050年までに実質ゼロにするカーボンニュートラルが宣言されました。

本市の豊かな自然環境を守り、安心して暮らせるまちを次世代に引き継いでいくため、市民・事業者・行政が一体となり地球温暖化対策を推進し、「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指して取り組んで行くことを宣言いたします。

令和 7 年 3 月 26 日

十和田市長

櫻田 百合子